

power SCRAMBLE

■ 世界クラシックで活躍した比嘉選手はじめ沖縄県の選手が大きく沖縄の新聞で紹介されました。

資料提供：盛龍也

比嘉 スクワット世界新 パワーリフティング 山川は日本新



パワーリフティングの一般74kg級スクワットで276kgに成功し、世界新記録を樹立した比嘉善浩＝カナダ（提供）

パワーリフティングの第6回世界クラシック選手権大会がこのほどカナダのカルガリーで行われ、一般(24歳以上)74kg級に出場した日本代表の比嘉善浩(POWER SPORT)がスクワット276kgで世界新記録を樹立し、トータル701kgで3位に入った。

比嘉は4月の県選手権大会でスクワット282.5kgに成功。だが海外の審判員がいなかったため、ルールで世界記録とは認められていない。「脱水症状で足がつかない。トータルはもつと上位にい

けたはず。今後も世界大会に出場し、どんどん記録を伸ばす」と誓った。ジュニア(19〜23歳)120kg級の山川太希(那覇ジム)はトータル762.5kg、デッドリフト310kgを挙げ、いずれもジュニア

同級の矢木龍馬(POWER SPORT)はトータル575kgの10位。「会場が高地にあり、体に合わなかった。減量がきついたので階級を上げて競技を続けた」と語った。

アと一般の日本記録を更新し、8位だった。



パワーリフティングの世界大会で日本新記録を更新した山川太希(左)と矢木龍馬＝沖縄タイムス社